

第3回 モーダルシフト船の運航情報等一括情報検索システム構築WG 議事概要

・日 時： 平成30年3月14日(水) 14:00~16:00

・場 所： TKP麴町駅前会議室ホール8A

- 実際のシステムの利用を考えたときに、まずは運航スケジュールがきちんと更新され、正しく表示されていることが一番重要であり、次のステップとして、運賃や空きスペースといった情報をどのような形で掲載するのが望ましいか議論してはどうか。
- 運賃情報については、既に海運を利用している荷主にとっては、なくてもよいかもしれないが、これまで海運を利用していない荷主にとっては、表示があった方が、今後の利用につながる可能性があるのではないか。
- 海運の運賃は、容積、重量、輸送機材や運転手の有無等、価格を構成する要素が多岐にわたるため、運賃を表示するのであれば、船種ごとの運賃体系を把握した上で、わかりやすい見せ方を整理する必要がある。
- 荷主の立場では、今日、明日といったリアルタイムの情報よりも、船を定期的にご利用するにあたって、輸送手段検討のために必要な情報が掲載されていることが重要。そのためには多くの航路が掲載され、その情報が適時適切に更新されていることが重要であるため、登録した情報の更新作業が効率的に行える仕組みが必要。
- どの航路や船便がどの時期に比較的混んでいる、あるいは空いているといったことが表示されていると、荷主にとっては他社との競争を避けて利用できる航路や船便が把握できるので、空きスペースを目安として表示してはどうか。
- 出発や到着時刻、所要時間等の基本的な情報に加え、週何便、一日何便といった運航形態や海上と陸上を分けた距離、CO2 排出量といった情報が視覚的に分かりやすく表示されると荷主にとって利用しやすいのではないか。
- 登録船社を増やし、航路や船便情報がより多く蓄積されれば、システムの利用価値は高まるのではないか。
- 例えばある航路を利用して貨物を運ぼうとした時に、人気があつてなかなか入り込めない場合に、どうしたらよいか相談に乗ってもらえるような相談サイトがあると利便性が高まるのではないか。

以上を踏まえ、運賃、空きスペース、詳細な情報項目、運営のあり方等について、引き続き次年度においても検討を進めることとなった。

以上